

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270500440
法人名	医療法人白生会
事業所名	医療法人白生会グループホーム楓
所在地 (電話番号)	〒037-0011 青森県五所川原市金山字竹崎230-1 (電話) 0173-33-5010

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 14日	評価確定日	平成 20年 1月 16日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	Aユニット平成15年6月1日 Bユニット平成15年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 13.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	冬季6,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 84.6 歳	最低	70 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人白生会胃腸病院・あすなる歯科・工藤歯科
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所の近くには民家がなく、気軽に近隣との付き合いを行うのは難しい状況にあるが、広大な敷地の中で野菜畑や庭木に恵まれ、羊・犬・鳥等も飼われ散歩コースに適した環境にある。サービス理念として住み慣れた環境の中で地域社会との交流を大切に利用者一人ひとりが社会性を維持できる様にと掲げられ、職員は日々実践に向け取り組まれている。利用者は表情が良く自分のペースで過ごされており、職員もさりげなく支援をし安心して気持ち良く過ごされている。利用者より「ありがたい」との声も聞かれ、職員も期待に添えるように、更なるサービスの向上に日々取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	居室の生活空間作りは趣味を活かした小物等が飾られ家族の協力で家具等持ち込まれ改善されている。湿温度計は各居室に設置され適切な温度設定が保たれている。排泄ケア時のチェック表はステーションで管理をし記入している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の取り組みにより気付きや、視野が広がり管理者、職員で振り返り、改善に向けての取り組みへ繋げて行く体制がとられている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	利用者の安全、防犯の為に鍵をかける必要性が意見として出され、夜間の玄関、窓の掛け忘れがない様にと話し合いがされた。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	毎月、スタッフより家族便りにて健康状態や職員異動等について報告している。金銭はレシートと管理帳を家族に説明し、確認してもらっている。今後は、さらに家族が気軽に質問できるような体制作りに期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣のコミュニティセンターへ年会費を納め、イベントの収穫祭に利用者と共に参加し作品も展示し、地域との関わりを大事にしている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた環境で一人ひとりの社会性を維持し、地域社会との交流を大切にする理念が作られ、取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の支援方法を模索しながらも運営推進会議や家族、地域等の関りのある方を通して取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣のコミュニティセンターへ年会費を納めイベントの収穫祭に利用者と共に参加し作品も展示して地域との関わりを大事にしている。又、夏祭りも行なっており、幼稚園、小学校等近隣への呼びかけ、働きかけをして地域社会との交流を確保する事ができるよう、努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の取り組みにより、気付きや視野が広がり管理者、職員との話し合いにより改善に向けての取り組みへ繋げている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、利用者の安全、防犯の為に鍵を掛ける必要性が話し合われ、夜間の玄関、窓の掛け忘れのないようにとの指導、話し合いがされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議依頼書提出の際に前回の会議録を同封して課題、現状を把握、周知してもらえるよう、取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会、勉強会、資料等で理解をし、活用できるように努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>作成した資料に全職員が目を通していている。又、研修にも参加をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退居時は規約に添って説明をし、その他にも疑問な点や不明な事があればその都度、対処をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、スタッフより家族便りにて健康状態や職員異動等について報告している。金銭はレシートと管理帳を家族に説明し、確認してもらっている。</p>		<p>家族が気軽に質問できるような体制作りに期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの要望にこたえられるよう、雰囲気作りや話し易さに努めている。家族から副食を軟らかくして欲しいと希望があり対応している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職で新しい職員が入った時は利用者に紹介し、利用者からホームの事を教えて貰うようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を受ける機会はある、資料は一箇所にまとめ、いつでも見れる状態にある。又、同一法人のグループホームと共に勉強会が行われている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同地区のグループホームの研修会で他事業所との交流を持つ機会が得られている。又、同一法人のグループホームや老人保健施設との交流もあり、これらの機会を継続させ、サービスの質の向上、職員の質のスキルアップに繋げるように努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には必ず、本人、家族と面会の機会を設けている。急ぎの利用の場合は、入居されてから早期の段階で、生活歴の把握に努め、取り組んでいる。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>挨拶は欠かさず行い、介助は必要時、さり気なく行っている。利用者から助言や意見をもらい支えあう関係作りに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>屋外散歩や外出、買い物等をして利用者の思いや意向の把握に努めている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の望みをベースに職員の気付き、家族の思いや要望を組み入れて作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の介護計画の見直しを行い状態に応じ随時見直しをしている。家族にも計画を開示し、了承の上でサービスを提供している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の希望に添い通院、送迎や入退院、再入居の際の支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期及び随時、利用前からのかかりつけ医の受診の介助、送迎、家族への報告を行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人の意思や家族の意見を聞く機会を作り、事業所が対応し得るケアについて説明し、取り組んでいる。</p>		<p>終末ケアにむけての職員の意識統一と課題の取り組みに期待します。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>昼食は利用者のペースで摂られており声がけ等対応している。個人情報に関する記録等は整備されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活のペースに合わせて、柔軟な対応がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備や後片付けは日々の日課として利用者間で役割があり、見守りで行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日、時間帯が決まっているが足浴、清拭は希望時や必要時に行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備や後片付け、畑作り等利用者に合わせて役割や支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>外出の希望はできる限り支援し、職員が自発的に屋外散歩やドライブに行っている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束する事でどのようなリスクがあるかを考え拘束しないケアに取り組んでいる。勉強会があれば参加している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけないで玄関に工夫をし、開閉時に音が出るよう対処している。</p>		<p>夜間は安全、防犯を考え、業務内容に施錠の確認項目を掲げ取り組みに期待します。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力のもと、避難訓練、消火器の使い方の説明が年2回行われている。</p>		<p>地域の人達との協力が得られるよう、運営推進会議等を通して働きかけを期待します。</p>
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の好み、嚥下、咀嚼能力を元に無理のない食事、水分摂取に心がけ支援している。栄養士のアドバイスを受けている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症対策マニュアルを作成している。感染症の予防、症状について学び、実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアと台所はつながり生活感があり、カーテンはレース、遮光の2種類となっている。トイレはアコーディオン式で開閉し易さがあり工夫されている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族からも協力があり利用者の気に入った小物等が飾られ落ち着いて過ごせる居室となっている。		

 は、重点項目。